

平成24年第7回定例教育委員会

平成24年7月31日(火) 午後2時

江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長 委員 委員 委員 教育長	長谷川 清 明 相馬 範 子 上野 聡 志 郷 早 見 月 田 健 二	説明員	教育部次長 後藤 好 人 学校教育支援室長 苅谷 正彦 総務課長 木村 藤一 総務課参事 三富 義信 学校教育課長 伊藤 忠信 学校教育支援室参事 西田 昌平 園部 幸洋 給食センター長 福井 満二 生涯学習課主幹 永嶋 勇彦 情報図書館長 大村 俊彦 郷土資料館長 斉藤 哲司 教育部長 佐藤 幸人 生涯学習課長 小林 則澄 総務課総務係長 近藤 澄人 傍聴者 なし
-----	------------------------------	---	-----	--

1 報告事項

- (1) 江別市立学校学校評議員の委嘱について
- (2) 角山中学校の統合に係る地元協議結果について

2 審議事項

- 平成24年議案第29号
江別市社会教育委員の委嘱について
- 平成24年議案第30号
江別市文化財保護委員会委員の委嘱について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 青少年キャンプ村こんがり王国の参加申込み状況について
 - (2) オールドノリタケ展の開催案内について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成24年第8回定例教育委員会の日程について

会 議 録

長谷川委員長	<p>(開会)</p> <p>それでは、ただいまから平成24年第7回定例教育委員会を開会いたします。本日の議事日程は配付のとおりであります。会議に先立ち、本日の会議録署名人を郷委員さんをお願いいたします。それでは議事に入ります。</p> <p>1の報告事項(1)江別市立学校学校評議員の委嘱についての報告を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。</p>
伊藤学校教育課長	<p>報告事項(1)江別市立学校学校評議員の委嘱について、ご報告いたします。学校評議員は、学校管理規則第9条の2に基づき設置するもので、教育活動の計画及び実施、学校と地域社会及び家庭の連携等学校運営に関して校長の求めに応じて、意見を述べるができるものでございます。</p> <p>平成22年度から2年間の任期で委嘱しておりましたが、平成24年3月末で委嘱期間が終了したところでございます。平成24年度からの設置に当たりまして、学校評議員の委嘱状況がまとまりましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>1の学校評議員一覧についてでございますが、2ページ以降に今回報告いたします学校評議員の名簿を8ページにわたって記載しております。学校評議員は各学校で3名から5名に委嘱しております。今回は小学校85名、中学校33名、合計118名の方に委嘱しております。</p> <p>なお、各ページの下の方に記載しておりますが、※印につきましては今回新たに委嘱する評議員であります。印のない方につきましては再任された評議員であります。今回新たに委嘱する評議員は、小学校21名、中学校9名、合計32名となっております。</p> <p>次に、2の委嘱期間であります。平成24年4月1日から平成26年3月31日までとなっております。以上でございます。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました江別市立学校学校評議員の委嘱について、質問等がございましたらお受けします。</p>
相馬委員 伊藤学校教育課長 相馬委員	<p>学校評議員で今回新たに委嘱された方は全体の何パーセントなんですか。3割弱くらいです。</p> <p>学校評議員は重責を担っていると思うんですよ。各学校で、地域と学校を熟知していて、私ども教育委員が分からないことも知っている人がなっていると思います。文京台小学校とか上江別小学校だとかいろいろな学校を訪問して分かっているんですけども、いじめの実態はどうなんですかとか、先生方や子供たちはどうなんですかとか、特別支援教育はどうなんですかとか、ほかの学校ではどうなっているんですか。</p>
長谷川委員長	<p>各学校の学校評議員がどういうことをやっているのか、実態について説明していただけますか。</p>
伊藤学校教育課長	<p>学校評議員には年に数回集まっていたいて、学校の中でいろいろな情報、あるいは年度当初ですと、こういう計画で学校運営をしていくというようなお話をしております。いろいろな情報を流すとともに、また学校一斉公開や各種行事があれば、どうぞ見に来てくださいということで、学校でご案内しているかと思えます。情報提供だけでなく、実際に学校を見ていただくということが意見をいただく上で大事なことで、各学校で独自にそういうご案内をして来ていただいてやっております。</p>
相馬委員	<p>私たち教育委員もそうなんですけれども、個別の部分は学校評議員に提言とか報告をいただいて頑張ってもらいたいと思います。</p>
長谷川委員長	<p>これは学校現場の実際の責任者である学校長の考え方によって、変わってくると思います。いかに地域の人たちに、学校をより理解してもらって、協議してもらおう。学識経験者、PTAなどがいるので、上手に協力してもらいながら、特色ある学校づくりをしていく。伊藤課長、より充実するためにも良い紹介事例があれば、何かの機会に伝えてもらえると、もっと質も上がってくるし、大事なことだと思います。</p>
相馬委員	<p>委員長が今言ったことには100%賛成なんですよ。私は学校評議員をしたことがないんですよ。PTA会長などはしたことがあるんですが、学校評議員をされたことのある郷委員から包み隠さず、現実の話聞かせてほしいですね。</p>
郷委員	<p>私も子供が、小学校・中学校在学中のときにはPTA活動をして、その後平成23年</p>

郷委員	<p>度まで上江別小学校の学校評議員をしました。だいたい年に2回ぐらい集まり、子供たちの様子を見ることも大事なので、参観日と評議委員会をマッチングさせて、参観日を見学した後に、子供たちの様子を見ていかがでしたかというような意見をいただいたり、地域の方が委員になっている方も多いので、通学途中のこととか、いろいろ全般的な意見を言い合ったりしました。</p>
相馬委員	<p>1回目は、1学期のうちに校長先生から、学校運営に関することやいろいろなことを説明していただいて、その後に今年度の運営はこんな感じになりますよということで、また意見をもらうという形でした。そして、運動会や学芸会などそういう大きな行事の時は是非見に来てくださいということでご案内をいただいたりしました。月に何通か学校だよりが出ているんですけども、そういうものをいただいて、子供たちの様子や学校に関わる行事の内容などを把握していました。1月、2月になれば、一年間を踏まえてどうでしたかということで、委員会が開催されるという流れで進んでいたと思っています。小学校と中学校では、またちょっと内容も違うのかなとは思いますが、だいたいこのような形で運営されているのではないかなと思っています。</p>
郷委員	<p>郷委員が学校評議員を何年もされていて、年2回は少ないだとかありましたか。学芸会や運動会に来てくださいというお招きがあるから、学校に対する接触はできていますよね。でも、年2回でいいのかなとか思いませんでしたか。</p>
月田教育長	<p>評議員の中では、PTA役員の方は学校の事は詳しいので意見が言いやすいということは聞いたことがあるんですけども、自治会関係者で年齢が高い方は、自分が教育を受けた時と様変わりしているところがあって、戸惑うところもあるけれども、年配者というか先輩としてのご意見をということでいただいたりという形はありました。</p>
	<p>実際の話をするると、学校は非常に大変なんです。学校評議員制度は始まってから何年も経つんですけども、最初の時にはその地域でこの人が評議員にいいのではないかという人は、見渡してもいたんですよ。ところが、何回か評議員の方々が入れ替わっていくうちにその地域にいなくなってくるんですね。評議員をやっていただく方がほとんどいないというのが、今の実情であります。</p>
	<p>今ほとんどの自治会では、会長さんとか副会長さんのなり手がいない状態で、会長さんに評議員をお願いしますと言っても、私はもう学校のこととは全然分かりませんから行きたくありませんと言って、みんな断られるような状態です。副会長さんはどうだろうかと思うと、副会長さんも全然行きたくないというような感じですね。それで今、資料にずっと印を付けていきましたら、市議会議員の方ですとか元校長先生というのが、かなり多くなっていて、江別の場合にはそういう方が地域にたくさん住んでいるのでまだいいんです。全道的に見ますと、僻地の方ではほとんどやる人がいなくて凄く大変な状態になってきております。この問題について、これから道教委あたりがどういうふうに精査していくのが大変なところだと思います。</p>
	<p>相馬委員さんが言われるように、学校側としては学校評議員に何回も来ていただいて、いろいろしたいんですけども、評議員になっていただくのでさえ大変なのに、無償のボランティアで、何回も来てくださいますと呼ぶのは大変なことでありまして、我々が考えていることと実際では、かなり違うのかなと思っています。</p>
	<p>ただ、その中でもほとんどの学校においては、校長先生方はこの評議員の方々にこのことについて意見を求めたいのでお願いしますということで、やっていただいているのではないかと思います。</p>
	<p>例えば、図書館の事について、評議員の方はどういうふうに考えていますかとか、校舎の営繕関係だけについてどうでしょうかとか、今はテーマを決めて意見をいただいていると思います。そういうふうにすれば、委員の方々も意見を言いやすいということで、皆さん出てくれているのではないかなと思っています。</p>
長谷川委員長	<p>江別の教育委員会で私が教育長になってから、1回だけ学校評議員の方を集めて講習会をしたんですけども、これだけ変わってきていますので、そういうこともまたしていかなければならないのかなと思っています。以上です。</p>
	<p>それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(2)角山中学校の統合に係る地元協議結果についての報告を求めます。園部参事及び木村総務課長お願いします。</p>

園部学校教育 支援室参事	<p>角山中学校の統合に係る地元協議結果についてご報告いたします。</p> <p>角山中学校の統合につきましては、第5回定例教育委員会におきまして、地元との統合協議再開についてご説明したところですが、このたび統合に向けた取り組みの方向性についての合意が成立し、教育長と角山小中学校PTA会長及び角山協和自治会会長との間で、別紙の覚書を交わしましたので報告いたします。</p> <p>覚書は、角山中学校を中央中学校へ統合することについて、以下の方向で取り組むことを合意したとするもので、1つ目として、統合期日を平成25年4月1日とすること。2つ目として、中央中学校の通学区域に角山中学校の現通学区域を加えること。3つ目として、中央中学校へ角山中学校を統合し、角山中学校は閉校すること。4つ目として、通学時の安全確保のため、統合後は統合前の角山中学校の通学区域から中央中学校へスクールバス等で生徒を送迎することとし、運行方法の詳細については別途、教育委員会が保護者とで協議すること。5つ目として、現角山中学校の施設を角山小学校の校舎に利用すること。6のその他として、教育委員会は角山中学校の生徒が円滑に中央中学校になじめるよう配慮するとしております。私からは以上であります。</p>
木村総務課長	<p>続きまして、次回の定例市議会に補正予算として提出を予定しております項目につきましてお知らせいたします。</p> <p>前段といたしまして、角山小中学校の現状と今後の校舎等の利用方法につきまして説明した後、補正予算に関し説明させていただきます。</p> <p>まず、角山小学校の児童数と学級数の状況です。本年5月1日現在の小学校の児童数は13名で、複式学級の3クラスとなっています。内訳は2つの学年で1クラスを構成するもので、1・2年生で1クラス、3・4年生で1クラス、5・6年生で1クラスです。この状況につきましては、新年度になりましても変わらないと予想しています。</p> <p>続きまして、角山中学校の校舎・屋体についてですが、校舎は昭和56年12月に新耐震基準に基づき建築されたもので、鉄骨造2階建てであります。</p> <p>また、昭和53年11月に建築された体育館につきましては、平成22年度に耐震診断を実施しIS値が基準を満たさなかったことから、この夏休み、ただいまですけれども耐震補強工事中です。</p> <p>小学校は、昭和40年・41年に建築された木造平屋で未耐震の校舎と中学校とつながっている耐震性のある鉄骨造2階建て校舎です。新年度に角山中学校が中央中学校へ統合されることから、空きました耐震基準を満たす中学校校舎・屋体を角山小学校として使用し、小学校の木造校舎部分は解体撤去しようとして計画しています。この計画を踏まえ、今回補正予算を講じようとしておりますので、ご承知置き願います。</p>
長谷川委員長	<p>現在、見積り等を徴している最中でありますことから、金額の明示は難しいので、項目のみお知らせいたします。</p>
相馬委員	<p>まず、中学校の統合に係る部分といたしましては、閉校記念式典経費、次に生徒の転校に伴う被服費というものでございます。続きまして、校舎移転に伴う経費としまして、校内の引越し経費、これは小学校にある物品をすべて中学校へ搬送すると言いますか運ぶための経費です。あと、教室複式学級化に伴う工事費です。この改修工事は、着工から竣工まで概ね2週間程度の時間を要し、春休み中に工事を完了することが難しいことから、冬休みに行くことを想定しております。増額する補正予算額といたしましては、総額で概ね850万円程度ではないかと予想しています。</p>
園部学校教育 支援室参事	<p>次回の教育委員会では、今回の報告を踏まえ、審議事項といたしまして一般会計補正予算案及び江別市立学校設置条例の改正案を提出する予定です。以上です。</p>
相馬委員	<p>ただいま報告のありました角山中学校の統合に係る地元協議結果について、質問等がございましたらお受けします。</p> <p>角山中学校が閉校となることに関して、子供たちの動揺とかは全くゼロなんですか。前にいろいろあったので再確認です。</p> <p>5月22日と7月10日に先生方も含めまして、地元のPTAの方全員、あるいはその中に自治会の方も加わりまして、ざっくばらんにいろいろな意見を出してもらった中で、このような合意にたどり着いたと考えておりまして、その辺の迷いというのは払拭されたと理解しております。</p> <p>分かりました。角山小中学校に関しては、何年も前から凄くいろいろと考えてきていたんですよ。地域の方の意見をいかに尊重しながら、それでも私どもの意見も言いたいとい</p>

相馬委員 長谷川委員長	う過程があったので、再確認の意味で伺いました。 ほかはいかがですか。それでは、本報告については終了してよろしいですか。 (一同了承)
永嶋生涯学習 課主幹	続いて、2の審議事項に入ります。 2の審議事項、平成24年議案第29号江別市社会教育委員の委嘱についての説明を求めます。永嶋生涯学習課主幹お願いします。 議案第29号の江別市社会教育委員の委嘱についてご説明いたします。 本件につきましては、江別市社会教育委員10名の任期が、平成24年7月31日をもって満了となりますことから、社会教育法第15条第2項及び江別市社会教育委員の定数及び任期に関する条例の規定により、委員の選考事務を進めてまいりました。 つきましては、関係所属団体等からそれぞれ推薦がありましたので、候補者名簿のとおり委嘱いたしたいと存じます。 今回新たに委嘱する方は4名で、そのほかの委員6名については再任として委嘱する方々でございます。 なお、委員の任期につきましては、記載のとおり平成24年8月1日より平成26年7月31日までであります。
長谷川委員長 相馬委員	以上、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 新規の方なんですけれども、江別市青少年のための市民会議の伊藤さんや文化協会の方も分かるし、札幌学院大学の先生も分かるんですが、えべつ協働ねっとわーくの方はどのような方なのか教えていただきたい。
永嶋生涯学習 課主幹	今現在、NPO法人として活動している団体でありますけれども、以前は旭通り沿いの旧江別消防署野幌出張所にありましたが、拡幅の関係もあり、以前はイトーヨーカ堂だったザ・ビッグの2階に事務所を移していろいろな活動をしています。市からの委託事業等も行っている市民活動に近い団体であります。
長谷川委員長	ほかにありませんか。それでは、平成24年議案第29号江別市社会教育委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。
斉藤郷土資料 館長	(一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、平成24年議案第30号江別市文化財保護委員会委員の委嘱についての説明を求めます。斉藤郷土資料館長お願いします。 議案第30号江別市文化財保護委員会委員の委嘱についてご説明いたします。 江別市文化財保護委員会は、文化財保護法第190条に基づき設置しているもので、委員につきましては、江別市文化財保護条例の規定に基づき、学識経験者の中から10名を委嘱することとなっております。 前回の定例教育委員会で所管報告したとおり、関係機関・団体等に依頼するなどして候補者を議案の裏面のとおり選考いたしました。 選考に当たりましては、文化財保護委員会が年1、2回の開催回数であることから原則再任としたほか、新しい委員は文化財保護活動への関わりや女性登用という点を考慮しております。これにより、委員の内訳は再任が8名、新任が2名。また、女性委員の割合は50%となっております。 各委員の学識経験に係る専門領域等につきましては、摘要欄記載のとおりです。また、任期は平成24年8月1日から平成26年7月31日までの2年間としております。 以上、委員候補者名簿のとおり委嘱を行いたいと考えておりますので、ご審議の上、ご承認くださいますようよろしくお願いいたします。以上です。
長谷川委員長 相馬委員	ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 北海道開拓記念館の考古学の学識経験者である右代啓視さんという方は開拓記念館にお勤めの方なんです。考古学の専門家なんです。
斉藤郷土資料 館長	開拓記念館で学芸課長をされていて、専門が考古学ということです。
月田教育長 長谷川委員長	考古学博士ですね。 よろしいですか。それでは、平成24年議案第30号江別市文化財保護委員会委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。

<p>長谷川委員長 齊藤郷土資料館長</p>	<p>(一同了承) それでは、そのように承認いたします 次に、その他の事項で(2) オールドノリタケ展の開催案内についての説明を求めます。 齊藤郷土資料館長お願いします。 郷土資料館所管事項として、セラミックアートセンター展覧会のご案内をさせていただきます。 お手元にリーフレットをお配りしておりますが、セラミックアートセンターでは、今年度の企画展開催事業として、来る8月4日から9月17日まで39日間の会期で、「若林経子コレクションの美 オールドノリタケ 欧米を魅了したニッポンの華」と題した展覧会を開催いたします。 夏休み向けに例年この時期に開催しているセンターの目玉企画のテーマを今回は、オールドノリタケとし、大阪府枚方市在住のコレクターである若林経子さんから110点の陶磁器作品をお借りして、1階の北のやきもの展示室を会場に開催するものです。 リーフレットの裏面にも書いておりますが、オールドノリタケとは日本有数の食器メーカー、ノリタケカンパニーリミテッドの前身である森村組が、1900年代初頭から主にアメリカに輸出した西洋風陶磁器のことを指します。大変優れた日本の窯業技術の粋を集めて製造・輸出していましたが、日本ではその存在が長く忘れ去られていて、その価値を見出し、いち早く収集に乗り出した若林氏の尽力により、今日脚光を浴びつつあります。なかなかこうした個人コレクションの展覧会の機会はありませので、お時間がございましたら、是非足を運んでご覧くださいませようご案内申し上げます。 なお、観覧料は大人500円ですが、利用促進策として今回新たに夫婦料金を設け、通常1,000円のところ800円に割り引いております。説明は以上です。</p>
<p>長谷川委員長 郷委員 齊藤郷土資料館長</p>	<p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。 これだけのものを集めている若林経子さんという方はどのような方なんですか。 昭和15年に名古屋市でお生まれになった方で、元々子供の頃から美術陶磁器に対して興味をお持ちだったということです。自らも絵画を制作されたり、腕前も日本展覧会、いわゆる日展に入選されるという経歴をお持ちです。オールドノリタケに出会ったのは、かなりお若い頃で、名古屋市のご実家で蔵の中に瑠璃色の地に金が施されたティーパックのセットと巡り会って、その時はオールドノリタケと呼ばれるものとは知らなかったんですけども、非常に綺麗なものでそれが初めての出会いということです。 その後も、どういった経歴を持った作品なのかということが分からなかったんですけども、その後いろいろ調べた結果、蔵の中で見たものがイギリス向けに製造されたオールドノリタケであることが分かって、自分で集めることができたら集めたいなということで、ご主人が実業家で経子さん自身は不動産業を営んでいるということで資産家でございます。今回の作品110点の評価額が1億1,600万円ほどで、個人のコレクターでこれだけ集めることができる資力もあったということでございます。</p>
<p>郷委員 長谷川委員長 永嶋生涯学習課主幹</p>	<p>ありがとうございます。 次に、青少年キャンプ村こんがり王国の参加申し込み事業についての説明を求めます。 青少年キャンプ村こんがり王国参加申し込み状況について、お知らせいたします。 小学4年生から中学3年生までを対象としまして、7月30日月曜日から8月4日土曜日まで開催いたしますこんがり王国につきましては、7月17日に申込み受付を終了いたしました。その結果、総数で121組686人の申込みがありました。 参加人数内訳は、小学生642人、中学生44人の参加となっております。昨年の参加申込みに比べ、23組150人の増となっております。 なお、本日期間中最高の28組162人の参加となっておりますが、本日の天気予報によりますと、夕方から明日の昼過ぎまでに断続的に20ミリとか30ミリの雨の予報になっており、また明日の明け方には雷の予報も出ておりますことから、今朝9時10分に中止の判断をいたしまして、参加者には午前中に中止の連絡をしております。以上でございます。</p>
<p>長谷川委員長 郷委員 永嶋生涯学習課主幹</p>	<p>本件に対する質問等ございますか。 中止になったらどうなるのでしょうか。 中止になりますと今年の参加はなくなり、来年また参加申込みをしていただくこととなります。</p>

相馬委員 後藤次長	この天気の場合で、本当に中止になってしまったんですか。 今朝の段階で気象協会に確認しまして、今後の天候状況を確認しています。その中で今日の夕方から明日にかけて30ミリ以上の雨が予想される。なおかつ、雷の注意報が出ていました。結果として天候は今現在、まだもっているんですが、ここまで引き延ばして判断することにはならないものですから、9時の段階で中止という判断をしています。
月田教育長 長谷川委員長 木村総務課長	夜中にお母さん方に来ていただいて、子供たちを帰すより中止の方が絶対安全です。 それでは、次回定例教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 次回の教育委員会の案件でございますが、本日ご説明申し上げました角山中学校統合に関わる報告を踏まえ、審議事項として、江別市立学校設置条例の一部改正について、それから一般会計補正予算について、もう一点、小中学校教育用コンピューター機器の取得などを予定しております。
長谷川委員長	また、次回定例教育委員会の日程でございますが、8月21日火曜日、午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょう。 今ありましたように、次回の定例教育委員会を8月21日火曜日、午後2時からということで、皆様のご都合はいかがですか。 (一同了承) では、次回の定例教育委員会は、8月21日火曜日、午後2時からを予定いたします。以上をもちまして、第7回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)

終了 午後2時45分

署名人（委員長） 長谷川 清明

署 名 人 郷 早見